

飯 整 第 6 1 1 号  
平成20年8月12日

グランシャトレ坂戸スプランドゥール  
管理組合理事長 様

埼玉県飯能県土整備事務所長



既存分譲マンション等の耐震性のサンプル調査の結果について

標記調査にご協力いただきありがとうございました。

この調査は、国土交通省住宅局建築指導課が実施し、その結果について別添のとおり報告を受けました。

その調査結果に基づき特定行政庁として元請設計者に別の構造設計者による限界耐力計算による安全検証を行わせ、審査した結果、耐震性に支障がないことを確認しました。

ご報告が遅くなりましたこととお詫びするとともに、今後も県の行政にご協力いただきますようお願い申し上げます。

埼玉県飯能県土整備事務所  
開発建築担当 大谷・井筒  
T E L 042-973-5877  
F A X 042-973-2286

平成19年3月28日  
事務連絡

特定行政庁建築主務課長 様

国土交通省住宅局建築指導課  
課長補佐 高橋 信二

既存分譲マンション等の耐震性のサンプル調査結果の  
報告について（依頼）

標記について別添の通り報告致しますので、平成18年11月14日付け都  
道府県建築主務課長あて事務連絡で通知いたしました報告要領により今後の処  
理をお願い致します。

担当者 課長補佐 高橋、業務係長 新澤  
tel 03-5253-8111 （内）39-566



平成19年3月28日

グランシャトレ坂戸スプラウドール 様

国土交通省住宅局建築指導課

既存分譲マンション等のサンプル調査結果の報告について

標記調査にご協力頂きありがとうございました。

この調査は財団法人日本建築防災協会の協力を得て実施しておりましたが、別添の通り調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

なお、建築基準法上の取り扱いについてはマンションが所在する特定行政庁（都道府県又は市町村）にご確認いただくこととなりますので申し添えます。

# 完了報告書

平成19年3月28日

国土交通大臣 冬柴 鐵三 殿

受託者  
住所  
氏名

東京都港区虎ノ門2丁目3番20号  
財団法人 日本建築防災協会  
理事長 岡田 恒男



平成18年3月9日付 国住指発3226号 指示書「3. 既存分譲マンション等の耐震性のサンプル調査」の下記の物件が完了したので、成果物を添えて報告します。

## 記

### 1. 完了物件 埼玉県-1

- (成果物)
- ・耐震レビュー結果報告
  - ・再計算チェックシート
  - ・実施調査チェックシート
  - ・構造設計再計算報告書
  - ・実地調査報告書
  - ・再計算書

### 2. 調査結果

提出された本物件の原構造計算書及び構造設計図は、再計算の結果、一部の部材に許容応力度を超えるものがありますが、耐震性に支障はないものと判断されます。

## 耐震レビュー結果報告

物件番号	都道府県名	埼玉県
	市区町村名	坂戸市
	番号	坂戸市-1
作成年月日	平成18年 10 月 4 日	

レビュー委員名	山崎 進 K9402420
担当事務所名	尾田建築構造設計
担当者名	尾田文雄 K8802203

本耐震レビュー結果報告は、本物件の構造再計算結果報告書及び実地調査報告書に基づいて作成したものです。

提出された本物件の原構造計算書及び構造設計図は、再計算の結果、一部の部材に許容応力度を超えるものがありますが、耐震性に支障はないものと判断されます。

### 〈建物概要〉

構造種別	RC	SRC	その他	(一部)	造	その他	
架構形式	X方向	ラーメン構造				設計年	2003年
	Y方向	耐震付きラーメン構造				竣工年	年
建物用途	共同住宅			延床面積		6,041.01 (㎡)	
階数	地上 12階			基礎工法		ベタ基礎	
最高高さ	36.10 (m)			地盤種別		第1種地盤 Z=1.0	

### 〈原設計計算結果と再計算結果の相違〉

項目	無	有	コメント
荷重計算結果の相違	(無)	有	コメント: 断面検討は下記レビュー結果に記入 保有水平耐力比の最小値は、原設計でX方向 1.00、Y方向1.39に対し、再計算でX方向1.00、 Y方向1.00であった。
応力計算結果の相違	無	(有)	
断面検定結果の相違	無	(有)	
保有水平耐力の相違	無	(有)	

### 〈実地調査結果〉

項目	無	有	コメント
設計図との相異	(無)	有	コメント: 特に問題なし
コンクリート強度に関する問題	(無)	有	
配筋に関する問題	(無)	有	
構造上問題のあるひび割れ	(無)	有	

### 〈耐震レビュー結果〉

<p>再計算保有水平耐力比の最小値: X方向 1.00 Y方向 1.00 問題なし</p> <p>大梁・柱にNG部材がある。大梁長期曲げ最大検定比1.16、大梁短期曲げ最大検定比1.11、大梁短期せん断最大検定比1.11、柱短期せん断最大検定比1.38であるが、耐震性に、支障がないと判断される。</p> <p>地震力がほとんど変わらず応力計算、断面検定、保有水平耐力に相違があるのは計算プログラムのバージョンの違いによるものと考えられる。</p>
<p>本部確認欄 2006. 10. 16 大越俊男 確認</p>